傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・~~分割~~）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	明日の向日

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 能登半島地震災害から、本市の災害に対する備えの見直しを	能登半島地震災害の経験をふまえ、被災者支援や災害備蓄当向日市の災害に対する備えに関して見直しや再点検して頂きたいことについて質問する。 （１）スフィア基準に基づく避難所整備・被災者支援 ①この機会に、国際的な最低基準（スフィア基準）に照らして、被災者支援の基準を見直す必要があるのではないか。 具体例として特に、避難所の広さ、トイレの現在の設置基準と見直しの考えについて ②災害対策に係る国への要望について ③災害備蓄品の備蓄状況について （２）災害廃棄物処理について 向日市では、2020年に乙訓２市１町共同で災害廃棄物処理計画を策定したが、最大５８万トンの災害廃棄物の発生が見込まれる。向日市の一般廃棄物発生量の４０年分以上。廃棄物の仮置き場がなく近隣自治体との協議が課題とされていたが、現状は？ （３）能登半島震災現地支援の経験を生かす取組み ①本市職員、関係機関が行った支援活動の実績について ②行政内だけでなく、市民を対象とした報告会を開催し、経験を広く共有することについて
２． 旧上田家住宅の市民利用の拡大へ、公平で透明性のある運用を	旧上田家住宅は、４つの部屋が有料の貸室として市民の利用に供されていますが、不透明な運用が行われ、市民の利用に支障が生じているようだす。運用の実態を聞き、改善を求める。

	（１）一般市民の使用申込より優先して、特定の市民団体が日程を押さえる運用が、これまで恒常的に行われているようだ。運用の実態を聞く。 （２）特定の市民団体の特例的な使用に対して、使用料を免除していると聞くが、その実態を聞く。 （３）こうした運用は公共施設としての公平性の原則に反しており、さらに一般市民の使用に支障が生じています。こうした特例的な運用は廃止するべきだと考えるが、市の見解を聞く。 （４）これまで市民から相談、要望、苦情はなかったのか。また、市民に直接接する窓口からの声は無かったのか。 （５）市の他の公共施設でも類似の運用は無いか。調査して頂きたいが、いかがか。
３． 上半身脱衣での学校健診を見直すことについて	学校健診について向日市の小中学校では、原則脱衣で行う運用がされてきたが、文科省は今年１月 22 日に「原則着衣で」との通知を出した。こうした現状で、上半身脱衣での学校健診を見直すことについて、考えを聞く。 （１）現在、向日市の６小学校、３中学校では、学校健診で医師に診察を受けるとき、子どもは全員上半身脱衣か。改めて実態を聞く。 （２）学校健診の実施時における脱衣については、いやだと思う子どもの意見が尊重されなければならないと考えるが、いかがか。 （３）文科省が 1 月 22 日に出した「学校健診は原則着衣で」との通知をどのように受け止めているか。そして今後どのように対応していく考えか。